

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	大丸ゆうし保育園
活動日時	2025年2月18日(火)
クラス名(年齢)	いちご組(1歳児)
年間テーマ	自然

1. 活動のテーマ

<テーマ>

砂場遊び①

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

砂場遊びが発展し、遊び込んでいる様子が見られた。砂場道具を充実させることで、より遊びが発展したらと思い設定した。

2. 活動スケジュール

- ・戸外に出て遊ぶ。
- ・テーブルに砂のお料理を並べておままごとをして遊ぶ。
- ・穴を掘ったり、山を作ったりして遊ぶ。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定

- ・砂場
- ・バケツ
- ・ふるい
- ・シャベル
- ・ペットボトル

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・戸外に出て砂場遊びを行う。
- ・シャベルを使って穴を掘ったり、掘った土で山を作ったりする。
- ・バケツやお皿を沢山並べて砂を入れたり、お友達と「乾杯」とごくごく飲む真似をしたりして遊ぶ。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<p>・バケツやお皿を並べて砂を沢山入れ、砂場の縁にずらりと並べる子ども達。「いらっしやいませ」と大きな声でお店屋さんになりきって遊ぶ。</p> <p>・保育士が大きなシャベルで山を作っていると、子ども用の大きなシャベルを持ってきて、足で“トントン”と蹴りながらシャベルを上手に使って山を作っていた。</p> <p>・ペットボトルの小さな口から、シャベルを使って砂を少しずつ入れる姿も見られた。初めはシャベルですくった砂のほとんどがこぼれていたが、集中してやっ ていく中でコツを掴み、ちょっとずつ砂をすくって入れることで上手に入れられるようになっていた。</p>	  

5. 振り返り <振り返りによって得た保育者の気づき>

おままごとでの遊びが広がり、戸外でもお料理したり、パクパク食べる真似をしたりして遊ぶ姿が見られるようになってきた。その中でお友達との関わりも見られるようになってきておままごとでの遊びが発展してきているように感じる。

砂場の縁をテーブルの代わりにして遊ぶ姿も見られるが、お友達が通るときに崩れてしまうこともあったので、ピクニックテーブルを用意し、子どもが遊びに夢中になれる環境を整えたいと考える。